



笠間市社協 矢戸支部だより

第 130 号

令和 4 年 2 月 17 日発行

発行 笠間市社協矢戸支部長
雨谷 高市
編集 矢戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

ボランティアの 輪と輪が 住みよい町となる —福祉標語入選作品から—



第 40 回高齢者グラウンドゴルフ大会入賞者

(支部長あいさつ)

あしたがあるさ

いつの間にか防災無線のメロディーが変わった。旧笠間では以前からこの曲であったらしい。今は、日常の中の一コマとして生活に溶け込んでいる。

嘗て、疎開とはいえ、笠間にゆかりのある超有名な歌手がいて、その方の歌った曲が一日の筋目に流れることは、笠間の住民として誇りに思う。いわば、全国的にいや国際的にも誇れる地産地消ということか。

「あしたがあるさ」は、恋を成就できない青年が、それでも明日への希望を持つて前向きに生きていくという、切なくもあるが、コミカルなタッチの曲であるが、九ちゃんの運命を思うと、なぜか悲しく、寂しい響きに感じてしまうのである。また、今の世の中の重苦しい雰囲気、この年に拍車をかけているのかも知れない。祇園精舎の鐘の声のごとくであろうか。

さて、コロナが急速に激減している。このまま令和の疫病も終息かという雰囲気である。是非そうなって欲しい。この流れの中で、ふるさと祭りが開催され、当矢戸支部においても、バザー出店として、参加することができました。売り上げは約七万円と矢戸小で開催する福祉バザーには及びませんでしたが、矢戸支部の事業の一つでも多く実施できたことは大きいと思う。バザー用品の提供等にご協力をいただき感謝申し上げます。

また、グラウンドゴルフ大会については、予定どおり開催することができました。本年度の大会では、関義光さんが二連覇を達成しました。次年度の三連覇達成なるか楽しみです。グラウンドゴルフは、転倒予防など体力の強化、仲間との交流による孤立感の防止等健康寿命の延伸につながる効果が認められています。また、初めての方でも楽しくプレーすることが出来ます。多くの皆さんの参加を期待しております。

来年少き日常生活に平穏が戻り、それが支部活動にも反映できることを祈るばかりです。

そして、あしたがあるさ

十二月一日記

わが町発見

このコーナーでは、あまり知られていない地域の施設や名所を紹介しております。

今回は「はなさか」に 35 年前に完成した市営の弓道場「友部弓道クラブ」にお邪魔して代表の門井さん（松山団地）にお伺い致しました。

このクラブの前身は、昭和 46 年に誕生した「友部弓道愛好会」で現在は約 40 名の会員が在籍しているそうです。練習は火・木曜日の昼間と火・金曜日の夜間の二部制。射位という発射位置に立つと正面に的があり、後方に南小泉地区を臨むことが出来ます。静寂の中に、矢を発射したときに生ずる「キューン」という「弦音（つるね）」が響きます。

弓道は、生涯のスポーツとして次の利点があるそうです。

一、「体を使う」：可動域を超えた伸筋作用がある。

二、「工夫によって頭を使う」：ボケ防止。

三、「コミュニケーション」：話題が多い。

また「射即人生」の精神に則り、礼に徹し、単に弓を楽しむだけでなく、常によき社会人として、そして社会貢献のできる心の向上を願っているとの事でした。

私の質問に丁寧に、そして楽しくお話を頂き、とても有意義な時間でした。（安達）



橋爪弓道場

(橋爪地区)

スナッグゴルフの思い出

南小泉 山中奏良

ぼくは、小学校三年生から、スナッグゴルフを始めました。最初はぜんぜんスコアが良くなくて、大会に出ても、成績を残すことはできませんでした。矢戸小学校に転校してきてから、おじいちゃんと放課後に練習をするようになって、すこしずつ良いスコアが出せるようになりました。



今年の市長杯では、優勝することができ、ベストスコア、ホールインワン賞、アルバトロス賞と三つの個人賞を取ることができました。

また、海老澤コーチと山本コーチに色々教えてもらい、フォームなどの細かい所を直すことで、スコアが良くなって行くのが楽しくなってきた。全国大会の予選も優勝でき初めての全国大会では、プロの選手といっしょにプレーすることで、刺激を受け、ベストスコア賞を取ることができました。

最後まであきらめない事がとても大切だなと感じました。

編集後記

今回もたくさんの方の協力を頂き、編集が円滑に進められました。感謝申し上げます。



安達正男 小川福子
羽生力 中塚久美子

お知らせ欄



今年度、社協矢戸支部で購入したコピー機です。今後の支部活動に貢献してくれそうです。

矢戸駅と社協玄関前の掲示板をご覧ください



(矢戸駅)



(社協玄関前)

青少年健全育成委員会

委員長 市毛正明

新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から令和二年度に続き、今年度も各種行事や活動が中止となつてしまいました。このようなコロナ禍においてもなんとか活動できる方法はないかと模索しましたが、再度の緊急事態宣言などにより地区懇談会も中止と相成りました。まことに残念であります。ただ、このまま手をこまねいてはということで、今年度は少しでも地域の皆様に貢献できないかと考え、警察署からの啓発文書を回覧させていただきました。

形は変わるかもしれませんが、この宍戸地区に四十年以上にわたって根付いている地区懇談会を地域の皆様や各区長様と連携しながら、実のある活動が続けてまいりたいと思いますので、今後とも変わらぬご協力ご支援をお願い申し上げます。

女性部

部長 上沼みどり

社協宍戸支部女性部は現在部員数99名。6班に分かれて活動しております。

一人暮らしの方への月一回の配食サービスはコロナ禍のもと二日に分けて作っております。

また、女性部には「手作り会」があります。毎月第4月曜日に社協会館で手芸品等を作成しております。出来上がった物はバザー、支部会館にて販売しています。

昨年はマスクを作り宍戸小学校へお届けしたところ大変喜ばれました。先日は宍戸小学校へ学校支援ボランティア家庭科教室見守りで4人の方がミシンの使い方の指導に出向きました。

福祉バザーは昨年に続きコロナ感染症拡大により中止となりました。そして、高齢者向きのお弁当作りの講習会や親睦を兼ねた一日研修を計画を立てておりますが、コロナの関係でなかなかスムーズにいかない現状です。今後は出来ることを模索しながら女性部を続けていきたいと思っております。



GROUND GOLF in 北山



第39回大会の様子



第40回大会閉会式

全国の新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除となった10月12日、北山グラウンドにて第40回高齢者G.G.大会が開催されました。平成12年に始まったこの大会も40回目の記念すべき大会となりました。大会会場では各々約80人が日頃の練習の成果を競いあいました。(第39回は6月8日)

第39回入賞者

男性の部	
優勝 関 義光	36
準優勝 宮部 誠	38
3 位 藤枝 登	38
<準優勝4人同点のため年齢順>	
4 位 米川雄一	5 位 船橋孝一
6 位 酒寄方治	7 位 永堀芳夫
8 位 浅野龍彦	9 位 楠原千広
10 位 小坂井芳威	
女性の部	
優勝 浅野美由紀	36
準優勝 飯田正子	38
3 位 和田博美	38
<準優勝2人同点のため年齢順>	
4 位 深井みよ子	5 位 枝川千恵子
6 位 永井淑子	7 位 渡辺ふみ子
8 位 桑野裕子	9 位 鎌倉幸子
10 位 大島敏子	

第40回入賞者

男性の部	
優勝 関 義光	39
準優勝 阿部忠孝	40
3 位 佐藤洋太郎	41
4 位 小坂井芳威	5 位 伊東勝男
6 位 米川雄一	7 位 宮田 元
8 位 中野光一	9 位 出地勝也
10 位 藤枝 登	
女性の部	
優勝 和田博美	38
準優勝 岡本敬子	39
3 位 永山きみ子	40
4 位 渡辺ふみ子	5 位 鎌倉幸子
6 位 山崎えい	7 位 永井淑子
8 位 富田美子	9 位 中村みどり
10 位 桑野裕子	

笠間の環境を考える会

星山 細田義人

笠間環境を考える会は、笠間市の環境基本計画に寄り添い、活動しているボランティア団体です。

私が活動を始めたきっかけは、住まいの近くの高速道路わきの側道に、ゴミが捨てられていたことが気になったからです。

笠間市環境保全課へ通報したところ、ボランティア団体の人が、道路上や茂みの中に不法投棄されたゴミを回収、分別してまとめて置いたと知りました。疑って申し訳ありません。

まちの声・むらの声

また団体の無名の人に感謝の気持ちがありました。ほんの少しでもお手伝いしたいと思い入会しました。それからは、私は不法投棄監視活動を担当する部署で頑張っています。

メンバーは二人の白雪姫とシンデレラ、そして四人の小人達です。市内二十数ヶ所、地上約1.5mから監視します。つい、ポイ捨てされたゴミも拾います。75歳まで、月光仮面のように出沒します。



これまでの支部社協広報誌はこちらから

https://www.kasama-syakyo.jp/local_magazine/

宍戸の二名 名誉ある雙光章に輝く

令和3年の「春の叙勲」で、お二人の方が、大きな功績を評価され、名誉ある勲章が授与されました。

旭日双光章

海老澤 勝さん

瑞宝双光章

雨谷 高市さん



海老澤勝さんは、長きにわたって笠間市議会議員をはじめ消防団のご指導にあたられました。

雨谷高市さんは社会の治安を守る警察署長をお務めされ、現在も地域の活性化に貢献されています。

お二人に、お気持ちを伺いました。海老澤さん…ありがたいです。個人というより地域の皆さんにご支援や応援をして頂いたお蔭であると思っております。

雨谷さん…何も特別の事ではなくて、果たすべき役割をしてきただけです。今後とも皆様のお役に立てるよう励みたいと思っております。…とのご感想を頂きました。

改めて、両人に心より祝辞をお贈り致します。誠に改めてとうございました。

私の生きがい

松山団地
面川 晃



後期高齢者まで生きてきた自分の生きがいを考えてみました。

定年後、ショートの仕事と自由な時間の環境で考えたことは、未知なる人との出会いの場に参加することでした。公的な生涯学習講座などに積極的に参加し、多種多様な人々との出会いが生きる原動力になり刺激を受けさせていただいています。

今の私は、生涯学習講座などへの参加と仕事の両輪をバネに充実した日々を過ごしています。動ける限り前向きに好奇心を失わない心の青春でありたいと思っています。

たずねてみたら

No105

今、唯一の趣味となりました絵手紙も公民館講座の受講から始まりました。仲間達は高齢者が多いですが、絵と文字は青年のように瑞々しく笑顔が絶えません。花などのモチーフも元氣を与えてくれる仲間です。

高齢化社会に生きる私は、出会いこそが豊かな人生を生きる原点だと信じています。

(話題募集 身近で起きた楽しい話題は広報委員へ。☎090・6120・2154 (安達))